木更津工業高等専門学校	開講年度	平成29年度 (2017年度)	授業科目	情報処理II

科目基礎情報

科目番号	0021	科目区分	専門 / 必修
授業形態	授業	単位の種別と単位数	履修単位: 1
開設学科	機械工学科	対象学年	1
開設期	後期	週時間数	2
教科書/教材	藤本邦昭著「ゼロからはじめるVisual Basic入門」森北出版、2012年、2200円(+税)		
担当教員	小川 登志男		

到達目標

1. 繰り返し処理と配列を用いたプログラムの作成ができる。
2. 特殊な演算、関数、プロシージャなどが理解できる。

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1	繰り返し処理と配列を用いたプログラムを正確かつ過不足なく作成できる。	繰り返し処理と配列を用いたプログラムの作成ができる。	繰り返し処理と配列を用いたプログラムの作成ができない。
評価項目2	特殊な演算、関数、プロシージャなどを用いたプログラムを正確かつ過不足なく作成できる。	特殊な演算、関数、プロシージャなどを用いたプログラムの作成ができる。	特殊な演算、関数、プロシージャなどを用いたプログラムの作成ができない。

学科の到達目標項目との関係

教育方法等

概要	さまざまなプログラミング手法を学び、工学的問題に応用できる力を身につけさせることを目標とする。
授業の進め方・方法	毎回の授業は、ネットワークセンターの演習室にて1人1台のコンピュータを用いて主に演習を行う。 教員による課題の説明後に学生は各自演習課題に取り組む。
注意点	1. 授業時間中に実施しきれなかった演習問題は、空き時間を利用して完成させること。 2. 自宅に作成途中の課題内容を持ち帰りたい場合は、補助記憶装置を購入し持参すること。 3. 毎回資料を配布するので、紛失しないようにファイリングし授業に持参すること。

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
後期	3rdQ	1週	繰り返し処理(1)	繰り返し処理について理解できる
		2週	繰り返し処理(2)	総和計算プログラムを作成できる
		3週	多重ループ(1)	多重ループについて理解できる
		4週	多重ループ(2)	多重ループを用いたプログラムを作成できる
		5週	配列(1)	配列の概念を理解できる
		6週	配列(2)	配列を用いたプログラムを作成できる
		7週	後期中間試験	試験実施
		8週	答案返却 インターネットおよびSNS	答案の返却および解説 インターネットおよびSNSの仕組みおよび正しい使い方を理解できる
	4thQ	9週	多次元配列(1)	多次元配列について理解できる
		10週	多次元配列(2)	多次元配列を用いたプログラムを作成できる
		11週	特殊な演算(1)	￥演算やMod演算について理解できる
		12週	特殊な演算(2)	￥演算やMod演算を用いたプログラムを作成できる
		13週	関数・プロシージャ(1)	関数とプロシージャについて理解できる
		14週	関数・プロシージャ(2)	関数とプロシージャを用いたプログラムを作成できる
		15週	後期定期試験	試験実施
		16週	答案返却 タッチタイピング試験	答案の返却および解説

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	課題	その他	合計
総合評価割合	80	0	0	0	0	15	5	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	80	0	0	0	0	15	5	100
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0	0